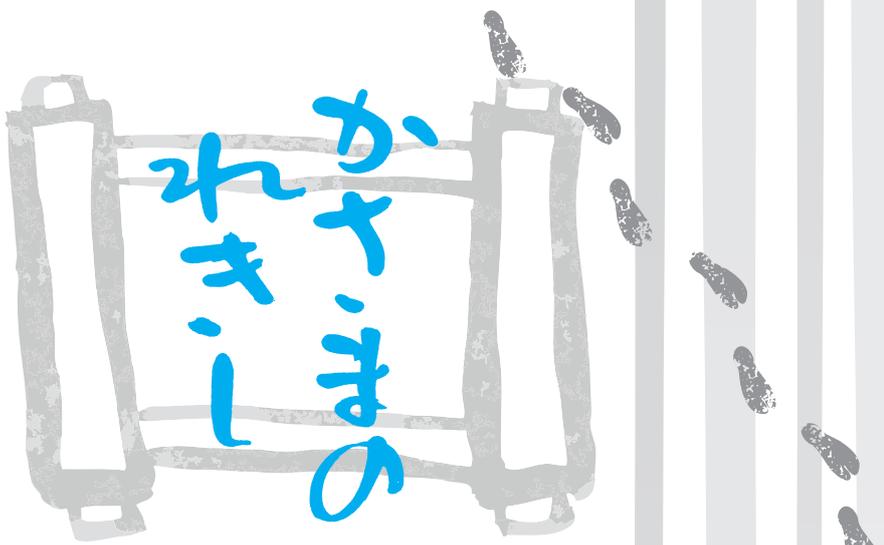




文武傳門下の碑



No.49

愛宕神社境内にある 三枝鳩輔の碑

愛宕山の愛宕神社境内、本殿の北西側に「文武傳門下の碑」(筆塚と頌徳碑を兼ねたもの)があります。

この碑に業績が刻まれている三枝親虎(通称:三枝鳩輔)は、江戸後期の教育者で、民間の教育に一生を捧げた人です。

若いとき笠間藩の役人でしたが辞職し、復職の招きにも応じず、庶民の中で「三枝塾」を開き、書道や学問を教えました。教育に情熱を燃やし、門下生が全国にわたって存在

三枝鳩輔の碑

し、多くの門人に慕われました。碑文と墓壇には、多数の門人の名前が刻まれています。

『孝経』を手本に、孝養を尽くし、社会に役立つ立派な人になるようにと教育に努めました。『孝経』とは、「孝の道理を教たまう書なるゆえに孝経と名付たり」とあります。

この碑が作られた時に親虎は七十一歳で、その門人は四百名を超えていました。卒業門生一同が師の長寿を願い、恩に報いるために嘉永二年(一八四九)にこの碑を建立

しました。親虎の弟である平井富車は、笠間藩主牧野貞喜の近侍で、俳諧の側近でもありました。富車との縁で、笠間藩校・時習館の教授であった森田桜園が撰文を引き受けました。

ところで、通称の「鳩輔」ですが、『慈元抄』(古典文学作品名・年代室町後期、作者著者未詳)に、次のようなことわざがあります。

「鳩に三枝の礼有り
烏に反哺の孝あり」

子鳩は育ててくれた親鳩に敬意を表して、親鳩より二本下の枝に留まる礼儀を知っており、烏は雛の時親から養われた恩に報いるため、成長の後には親烏の口に餌を含ませるなどの親孝行をする。というたとえです。

親虎は、この「鳩に三枝の礼有り」のたとえから、姓の三枝を三枝にかけ、通称を鳩輔としたのでしょうか。教育に一生を捧げ「礼と孝」を守る誠実な人柄が想像されます。しかし、親虎の最期や墓地などはわかっていません。

(市史研究員 松本 兼房)

国産品なら 豊工房 **二タイラ**  **他社と比べて下さい 見積もり無料!**

暑い日が続きますね。体に気をつけてがんばりましょう。

襖張り替え **10%OFF** (8月末まで)

畳表替え……3,900円～
襖張替え……2,800円～
障子張替え(大)…1,780円
アミ戸張替え(大)…2,100円
◎オーダーカーテンもやっています
その他リフォームもご相談下さい。

笠間市小原1216 TEL.0296-77-7845

外壁・屋根…うちもそろそろかな…?

色々なところから営業が…どこに頼めばいいの…?

そんなあなたも お気軽に相談下さい! 外装点検・お見積り無料

一級塗装技能士による住まいの塗り替え

(有)中嶋塗装工業

茨城県知事許可 第31532号 本社 石岡市半ノ木14159-5
中嶋塗装 検索 TEL 0299-57-1641